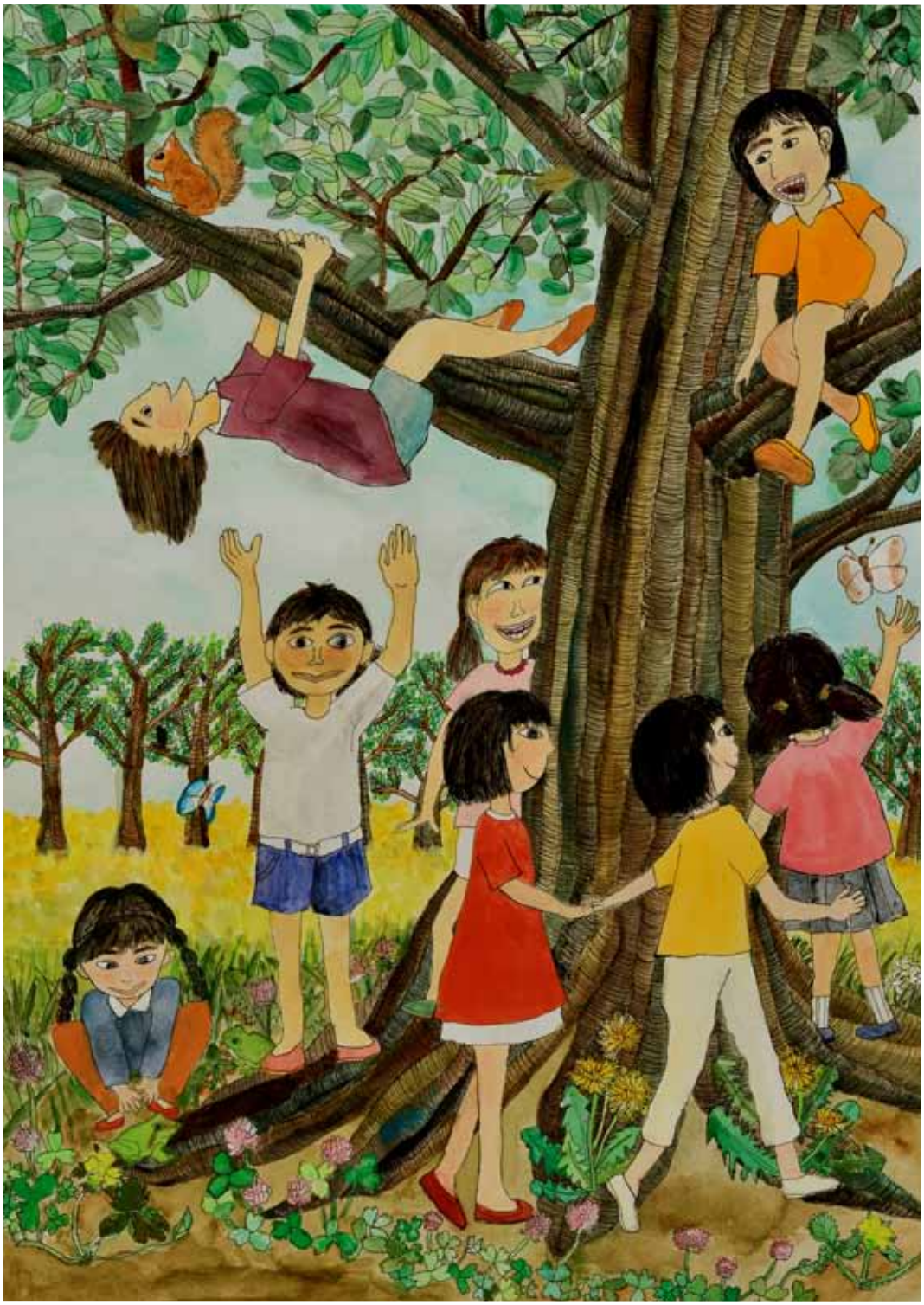
平成25年度

国土緑化運動ポスター原画コンクール

入賞作品集



主催：（公社）千葉県緑化推進委員会
後援：千葉県　千葉県教育委員会　（株）千葉日報社
協賛：千葉信用金庫

はじめに

このコンクールは、公益社団法人 国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集」に呼応した千葉県内のコンクールで、県民の皆様からお寄せいただいた「緑の（羽根）募金」を活用し、千葉県緑化推進委員会が昭和45年度から実施しているものです。

本年度（平成25年度）も、県内447の小学校から7,650点、132の中学校から3,543点、合計11,193点と、大変多くのご応募をいただきました。

このような多くの応募作品の中から、入賞された75点を取りまとめ、これを大勢の方にご覧いただき、みどりづくりへの理解の輪が一層広がっていくことを願い、この作品集を作成いたしました。

皆さんが描いてくれた作品には、お一人おひとりの様々な思いや考えが込められていることがよくわかります。みどり（森林）はまさに皆さんが考えてくれたとおり、様々な公益的な機能を有していて、私たち人間とは共同体というべき存在です。

少し歴史的な話になりますが、戦後の復興期、大量の木材を確保しなくてはならない切実な理由から、豊かな森林はあっという間に「はげ山」と化しました。これによって国土は弱まり、様々な災害が発生するなどしたことから、国民総参加で植樹を行ったのが緑化運動の始まりです。そして先人の大変な苦労によって、再び豊かな森林が蘇ってきた現在、今を生きる私たちが取り組むべき課題は、この森林をほどよく活用し上手に循環させていくことにあります。

このコンクールに参加された皆さんにはその類い希なる新しい感性をもって、引き続きみどりや森林について一緒に考えていってほしいと願っています。それによって未来には健康的で楽しく明るい森林文化が築かれているものと信じています。

終わりになりますが、ご後援をいただいた千葉県、千葉県教育委員会、（株）千葉日報社、特別なご協賛をいただいた千葉信用金庫の皆様をはじめ、ご指導、ご協力をいただいた各市町村、各市町村教育委員会、学校関係者並びに保護者の皆様に深く感謝を申し上げますと共に、次代を担う皆さんの可能性に大いに期待をし、益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。

平成25年12月

公益社団法人 千葉県緑化推進委員会 理事長　森　英介

●総　評（審査にあたって）

このコンクールは、絵を描くことを通し、みどりの大切さや自然に親しむ楽しさ、素晴らしさを理解してもらうことを目的としています。毎年多数の応募があり、関心の高さに驚かされます。小学校低学年から中学生まで、どの作品も学年を問わずに人と自然との関係が伸び伸びと楽しそうに描かれており、審査会場にいた全員が温かい空気で包み込まれました。

昨年は、世相を反映してか、エコを意識した作品が目に付きました。今年は、社会に少しずつ明るさが見えてきた証でしょうか、鮮やかな色使いが目立ちます。題材も偏ることなく、多岐にわたっているのが特徴です。学年が上がるにつれ、テーマを幅広く解釈し、既成の概念にとらわれることなく斬新な切り口の作品が多数見受けられたのは驚きでした。

小学校低学年では、「自分たちが、花や木、動物たちと一体化して楽しく遊ぶ様子」が、子どもらしい天真爛漫さで表現されています。一つ学年が上がるごとに描写力が増し、画材の使い方にも慣れが感じられました。高学年になると、「自然や動植物を大切にしよう」という思いが強く表れてきます。中学生は、自分たちの経験を通し、自然との関わり方がより現実的なものへと変化していきます。「環境問題と自然との共存」など、社会全体に向けたメッセージが画面から湧き出てくる作品がたくさんありました。

小学校の低学年は、子どもの視点から温かさや楽しさが画面いっぱいに表現されていること、高学年では、発想が豊かで自分の思いがストレートに伝えられていること、中学生は、テーマを理解し、メッセージ性が顕著に表れていること、さらに技術的にも優れていること、などを基準に審査しました。毎年感じることですが、参加作品は、どれもが個性に溢れ、自分に合った題材で自由に描かれた力作ばかり。審査する側も、子どもたちの思いを全身で受け止め、緊張感を持って臨みました。その中で、自身の感性を大切にし、強く訴え掛けてくるものが、上位入賞を果たしています。

子どもの創造力は、大人が考える以上に、たくましく伸びやかです。日常生活で触れ合う小さな自然と、地球全体から捉える雄大な自然。みずみずしい感性でその中から題材を選び、描くことにより、緑と環境・自然への愛を一層深めていってほしいと願っています。

●小学校・低学年の部／評

明るく、楽しい雰囲気が画面いっぱいに広がります。色とりどりの花々に、小さな虫たち、そして森の中で元気に遊ぶ男の子や女の子。一つ一つにきらめくような命が宿り、人も自然も、誰もが平等で自由な世界が生き生きと描かれています。地球という一つの生命体に共に生きる者への柔らかな愛情が、見ている者に素直に伝わってきます。

学年が上がるにつれ、少しずつ世界が開かれていくのが分かるのも、この学年の特徴でしょう。客観的に物事を見る力が付いていくのに伴い、伝える内容が明確化していきます。大人の感性を無理に押し付けられることなく、いつまでも子どもらしさを大切にしてほしいと思います。

●小学校・高学年の部／評

発想力の豊かさに、驚かされます。テーマを自分なりに理解し、本当に描きたいものを、独自の視点から、細部まで丁寧に描いている印象を受けます。自分と自然とを一体化して描いていた低学年のころとは違い、経験がプラスされた分、物事を多角的にそして客観的に捉えられるようになりました。

技術的にも、画面の奥行きや濃淡などがうまく表現され、格段の成長を感じます。写実的な中にもストーリー性を感じさせる作品が多く、より魅力的なものへと進化しています。これからどんな大人になり、どんな作品を作り上げるのか、楽しみです。

●中学校の部／評

豊かなアイデアと確かなデザイン力に圧倒されます。自然保護や植樹といった身近なテーマだけに留まらず、環境問題など社会全体に鋭く問い掛けるような、強いメッセージを放っています。

力強さと柔らかさ、大胆さと緻密さ、そして光と影。対極とも思える技巧を多用し、一枚の作品へと仕上げていく過程は、自分と自然との関係を見直す貴重な時間であったことでしょう。

千葉県教育庁教育振興部指導課　指導主事　大谷　照久
千葉県教育庁南房総教育事務所　指導主事　稲村　由則

◆千葉県知事賞◆

1学年　浜田　真衣

◇画面いっぱいに描かれた女の子が、とても楽しそうに笑っています。手にとまったテントウムシやカタツムリと、内緒話でもしているのでしょうか。真っ赤な太陽や花、女の子の黄色の服など、色使いにセンスの良さが光ります。

◆千葉県教育長賞◆

2学年　髙田　羽瑠

◇赤と黄色の大胆な色使いが印象的な作品です。木の幹がとても丁寧に描けていて、観察力の鋭さに驚きます。カブトムシやクワガタ、蝉たちが、今にも飛び出してきそうです。きっと羽瑠さんは、虫が大好きなのでしょうね。

◆千葉日報社賞◆

1学年　加悦　啓羽

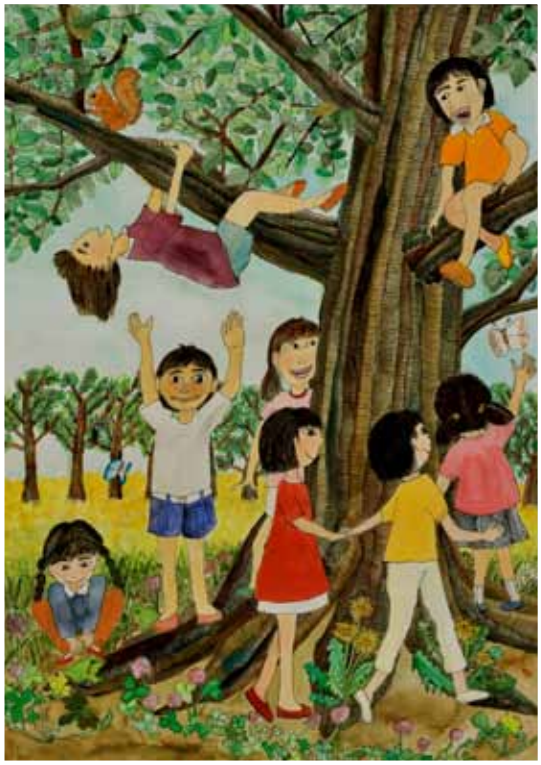
◇ひまわりの周りを、チョウやトンボ、小鳥たちが飛び回っています。葉や茎にも動きがあり、どれもがみな生命力に溢れています。家をバックにジョウロで水をあげている男の子の表情に、生き物に対する優しさが感じられます。

◆委員会理事長賞◆

3学年　月崎　桃恵

◇力強く咲くひまわりと、青い空に浮かぶ雲の間を、流れるように飛ぶトンボとの対比が見事です。日頃から、よく観察しているのでしょう、ひまわりの種子が繊細に表現されています。色の塗り方も丁寧で魅力的な作品です。

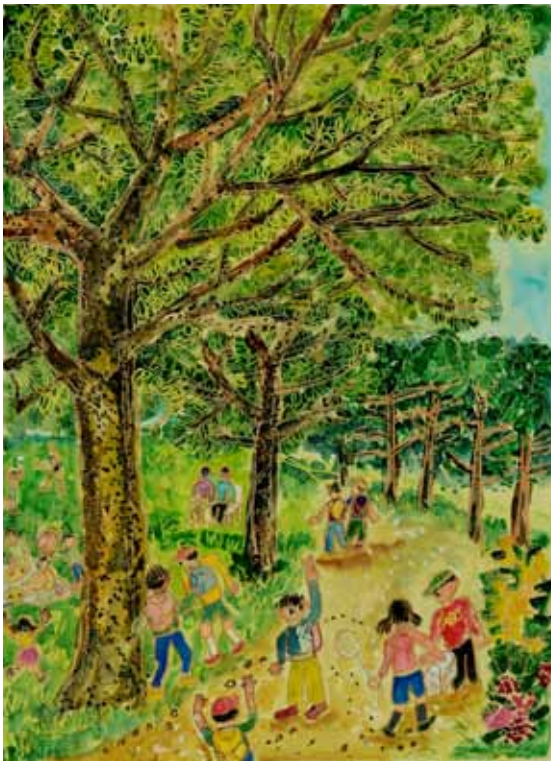
特別賞



◆千葉県知事賞◆

5学年　吉原　和奏

◇子どもたちが木に集まり、ぶら下がったり登ったりしながら遊んでいます。自然の中で、仲良く過ごす様子が躍動感溢れるタッチで描かれています。木の幹の表現も素晴らしく、今までにない構図とテーマが印象的です。



◆千葉県教育長賞◆

4学年　向後　岬輝

◇全体を同系色でまとめたことと、色塗りの丁寧さに技術の高さを感じます。緑豊かな公園に遊びに来た人たちが、お弁当を食べたり、バトミントンをしたりと楽しそう。道のカーブと木の大きさが、画面に奥行きを与えています。

◆千葉日報社賞◆

5学年　水口　光馬

◇植物に集う昆虫の様子など、隅々まできちんと描き上げられています。手前にネットを配置するなど構図もユニークで、きゅうりの葉や花には生命力を感じます。てんとう虫やジョウロなどの赤色がポイントになっています。

◆委員会理事長賞◆

6学年　田名　華子

◇スカートが風にたなびき、爽やかな風が吹き抜けていくのを感じます。木の上から手を振る相手は、友達でしょうか。豊かな自然を牧歌的な雰囲気と、女の子らしいストーリー性をもってまとめた作品です。

◆千葉県知事賞◆

3学年　野邉　栞乃

◇さまざまな年代や職種の人たちが生命力溢れる巨木を囲む様子に、人々が協力して壮大な地球を緑で染めていきたいという作者の思いが溢れています。たくさんのメッセージを含んだ、重厚感漂う作品です。

◆千葉県教育長賞◆

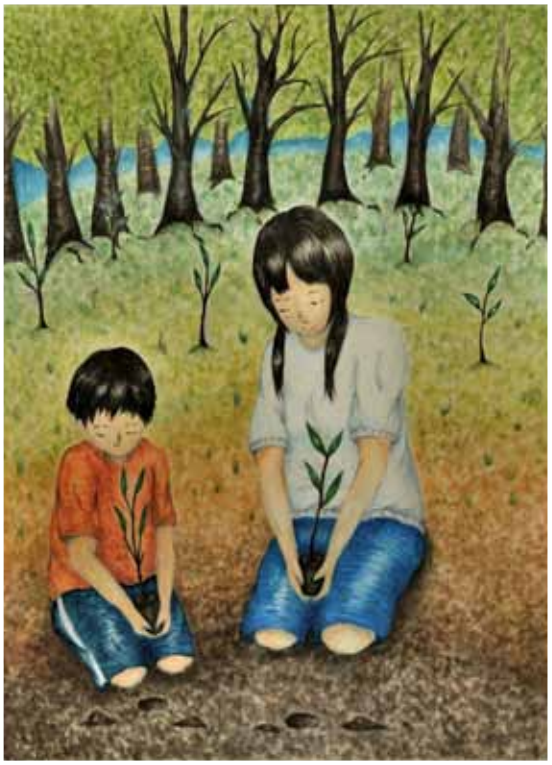
1学年　渡邊　歩実

◇メルヘンの世界から抜け出してきたようです。月明かりの中、人と動物たちがおだやかに過ごす様子が描かれています。闇を描きながらも光を感じさせる表現方法は見事です。キャラクターもオリジナリティーがあり、魅力的です。

◆千葉日報社賞◆

2学年　秦　花菜

◇デッサン力の確かさに圧倒されます。斜め上から見下ろすような視点で描かれた動物たちは、みなほほ笑んで見えます。まどろむ女の子も幸せそう。さりげない風景の中に、平和で優しい時間が通り過ぎていくようです。



◆委員会理事長賞◆

2学年　中村　菜々

◇祈りを込めるように植樹をする二人が、輝いて見えます。テーマに真正面から取り組んだ作品と言えるでしょう。バックのグラデーションと服の質感が画面に変化を与えています。静けさの中に緑を通しての命の繋がりを感じます。

小学校低学年の部

1学年　石橋　葵

1学年　早川　智基

2学年　齋藤　優真

2学年　阿部　楠

2学年　小川　元晴

3学年　菅　文優香

3学年　鶴田　涼夏

3学年　大木　美澄

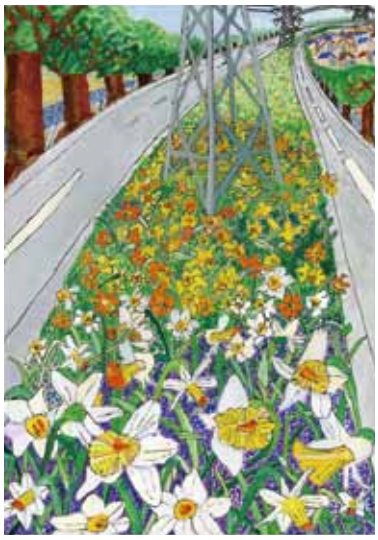
4学年　松丸　さくら

4学年　金坂　芽衣

4学年　秋元　未麗

5学年　西山　紗代

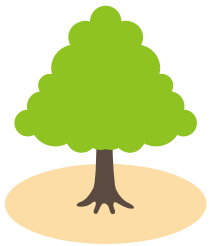
5学年　山口　樹哉



6学年　大貫　彩優子

6学年　岡嵜　博之

6学年　船見　朋花



特選

1学年　中田　菜穂子

1学年　大竹　夏生

1学年　青柳　美里

2学年　黒川　紗香

2学年　羽鳥　菜月

3学年　兼平　情礼

3学年　狩野　真由

3学年　中越　由望

1学年　川島　賢生

1学年　新井　萌果

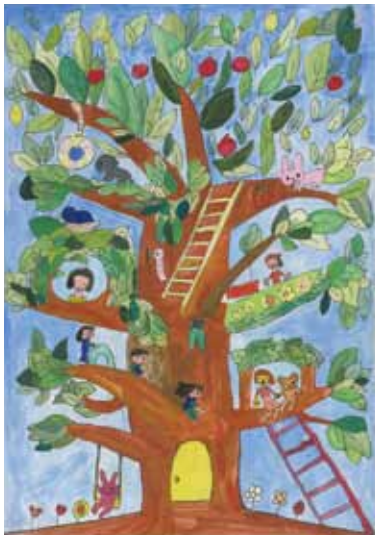
1学年　今井　梨愛

1学年　小髙　悠翔

2学年　村石　麗奈

2学年　弓削　アミ

2学年　野村　明希人



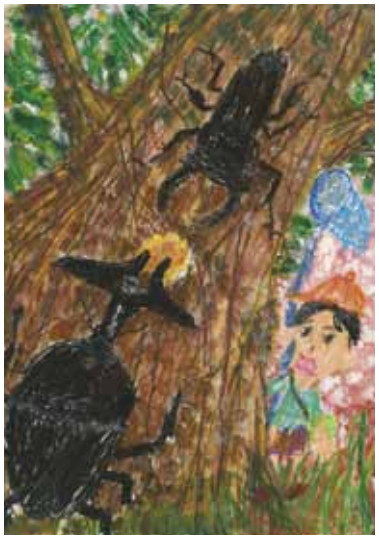
2学年　徳重　芽依

3学年　遠藤　樹

入選

3学年　東條　晃明

3学年　河野　大哉



3学年　松尾　光剛

小学校高学年の部

4学年　田中　麻日瑠

4学年　中西　亮太

4学年　船越　咲希

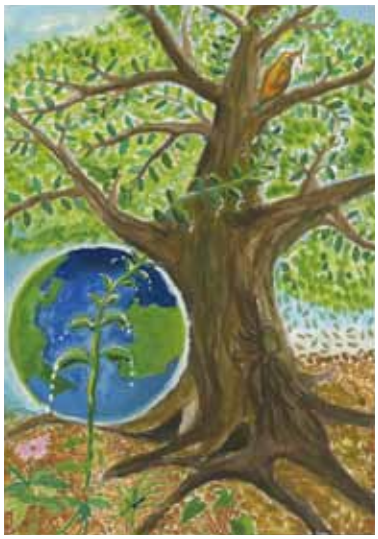
4学年　齋藤　夢

5学年　阿部　奈桜

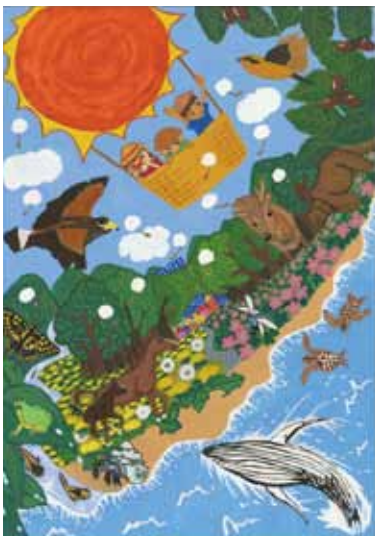
5学年　秋葉　はな

5学年　麻生　実希

5学年　片山　あい



6学年　熊谷　優美



6学年　平野　一等

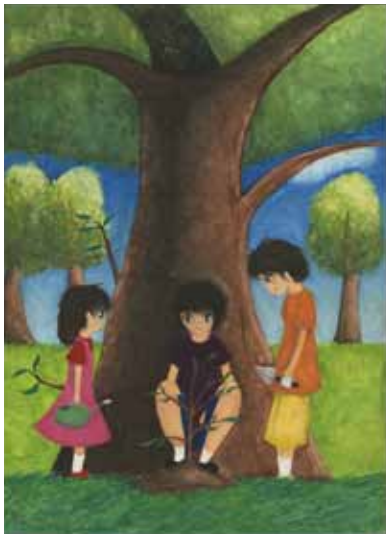
6学年　前田　紀香

6学年　久保　愛美

中学校の部

1学年　城後　円香

1学年　伯耆原　結衣



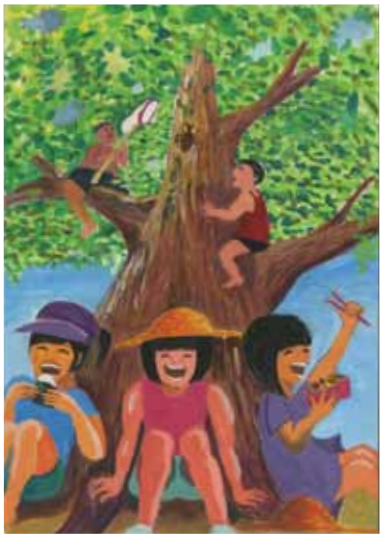
1学年　沼　美咲

入選

1学年　田邉　亮太

2学年　藤井　侑李

2学年　増田　朱里



2学年　菅澤　七美

2学年　宮城　里奈

3学年　山田　瑶己

3学年　佐藤　里帆

3学年　一色　優希

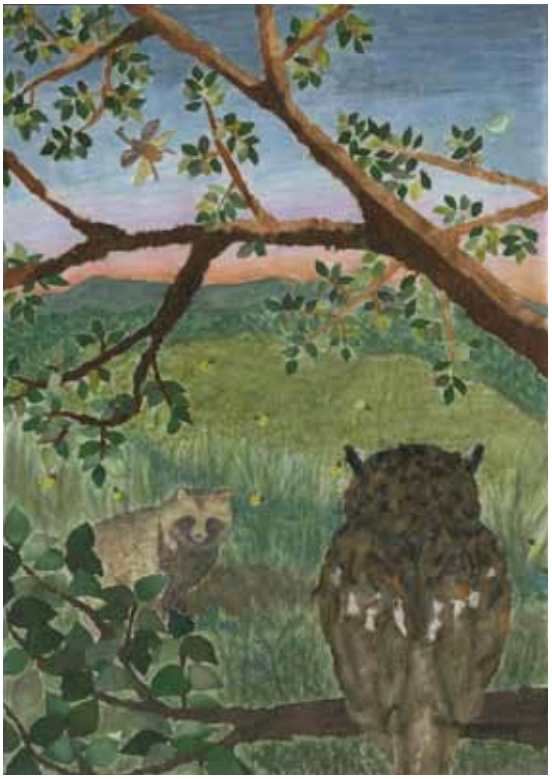
3学年　伯耆原　未来

千葉信用金庫協賛賞

小学校　低学年の部

2学年　川﨑　瑚央

小学校　高学年の部



6学年　井上　彩音

中学校の部

1学年　小林　知加

千葉信用金庫は
「国土緑化運動ポスター原画コンクール」
を応援しています。
また全店で「こども110番の店」の
活動を行っています。

こども110番はこのステッカーが目印です。

CHIBA SHINKIN BANK

平成25年度　国土緑化運動ポスター原画コンクール・入賞者

◆特別賞◆

小学校・低学年の部	小学校・高学年の部	中学校の部
	千葉県知事賞	
1年　浜田　真衣	5年　吉原　和奏	3年　野邉　栞乃
	千葉県教育長賞	
2年　髙田　羽瑠	4年　向後　岬輝	1年　渡邊　歩実
	千葉日報社賞	
1年　加悦　啓羽	5年　水口　光馬	2年　秦　花菜
	委員会理事長賞	
3年　月崎　桃恵	6年　田名　華子	2年　中村　菜々

◆特　選◆

小学校・低学年の部	小学校・高学年の部	中学校の部
1年　石橋　葵	4年　松丸さくら	1年　中田菜穂子
1年　早川　智基	4年　金坂　芽衣	1年　大竹　夏生
2年　齋藤　優真	4年　秋元　未麗	1年　青柳　美里
2年　阿部　楠	5年　西山　紗代	2年　黒川　紗香
2年　小川　元晴	5年　山口　樹哉	2年　羽鳥　菜月
3年　菅　文優香	6年　大貫彩優子	3年　兼平　情礼
3年　鶴田　涼夏	6年　岡嵜　博之	3年　狩野　真由
3年　大木　美澄	6年　船見　朋花	3年　中越　由望

◆入　選◆

小学校・低学年の部	小学校・高学年の部	中学校の部
1年　川島　賢生	4年　田中麻日瑠	1年　城後　円香
1年　新井　萌果	4年　中西　亮太	1年　伯耆原結衣
1年　今井　梨愛	4年　船越　咲希	1年　沼　美咲
1年　小髙　悠翔	4年　齋藤　夢	1年　田邉　亮太
2年　村石　麗奈	5年　阿部　奈桜	2年　藤井　侑李
2年　弓削　アミ	5年　秋葉　はな	2年　増田　朱里
2年　野村明希人	5年　麻生　実希	2年　菅澤　七美
2年　徳重　芽依	5年　片山　あい	2年　宮城　里奈
3年　遠藤　樹	6年　熊谷　優美	3年　山田　瑶己
3年　東條　晃明	6年　平野　一等	3年　佐藤　里帆
3年　河野　大哉	6年　前田　紀香	3年　一色　優希
3年　松尾　光剛	6年　久保　愛美	3年　伯耆原未来

◆千葉信用金庫協賛賞◆

小学校・低学年の部	小学校・高学年の部	中学校の部
2年　川﨑　瑚央	6年　井上　彩音	1年　小林　知加

佳　作

小学校

1年生

松原　初愛
松永　菖汰
三ッ木美智
佐藤　向咲
神宮路三善
鹿田　茉那
佐久間愛瑠
高橋　沙和
鈴木　絢瑛
坪井　颯希
原　朱里
齋木真陽菜
山田　結夕
浅見　綾乃
武田　蒼史
中村美紗希
水野美玖浬
佐藤帆名弥
山口　諒
越智　凜名
大藤　怜
海老澤釉月
鴨志田成美
竹内　愛裡
鈴木優羽愛
長峰　梓
小田健一郎
淺野　奏太
大木　雄太
乃一　充則
長谷川美咲
鈴木　友菜
中島　宏太
加藤　美桜
米花　佑馬
松岡　紗耶
城ノ上佳穂
有江　姫菜
森　姫菜乃
鈴木　日菜

2年生

佐々木杏菜
嶋田　貫太
中島　大和
村山　結菜
相野　洸太
渡邊奈津美
朝倉　輝
櫻井　智
永野　優月
石川　晏士
杉山　勤武
宇佐美遊子
中澤　柚月
細川　佳奈
輕部ひなた
佐々木優芽
大海　純子
矢口　璃海
植田　愛生
工藤　真優
星野　美優
大久保葵理
瀧澤　佑空
石井　朝陽
柴田　真聖
飯島　彩
長峰さくら
松下　創哉
矢田部愛実
松本那奈子
阿久根幹太
越川　優花
五木田夏那
中村　萌花
金澤　陽登
葛岡　優羽
宮浅　沼　慶
吉田　朱里
松田　愛果

3年生

佐藤　香花
根本　涼喜
土井　心音
岡部　りさ
相澤　空来
百瀬　理菜
坪井　颯良
宇田川愛梨
粟飯原　暉
栃原　みわ
櫻井　颯馬
田仲　海斗
洞井　碧海
中島　温音
佐藤　暖太
荒巻　洸芽
平　彩音
安達　純平
奥村　彪央
尾池　有愛
杉田　陽菜
日野由加利
若柳　日和
黒田　峻介
久保木舞乃
浅野　菜穂
吉田　琴音
渡辺　七海
宮澤　一希
石崎　はる
川島　史子
川野　桃香
中川　裕介
半澤　春奈
石川　隼也
浅野　遥子
齋藤　拓申
山下紗椰香
大堀　温都
田中　結彩

4年生

磯部　珠実
藤沼寿莉亜
鈴木　佑実
井上智英乃
内田　琉
鈴木　妃菜
三原崚太郎
藏野　凜音
佐々木春樹
髙山　穂花
關根　梨世
新井　萌愛
田中優里香
福島　巧将
北村　初音
鎌田　圭陽
古川　希
森野那々実
関口　奈央
原田　空
岩間　萌
内山　璃子
伴　青空
香取　明花
山崎　美穂
髙橋　慶伍
小宮　拓麻
小野里彩音
赤間　楓香
中村　勇翔
伊藤　彩葉
樋口　小雪
梅木　愛奈
田村佳奈子
中村　叶恋
吉井ゆめか
藤平すみれ
昆　奏花
印牧　瑛音
小川敬太郎

5年生

齋間　響子
山本　柚菜
小林もあな
白土　菜結
大曽根康太
鈴木　梨花
荒井　七海
若林　顕杜
佐藤　怜
市野　美沙
三ノ輪飛翔
城ヶ原礼都
小林　由芽
佐々木茉莉
齋藤　駿馬
東　愛乃
福田　大朗
坂本花南乃
花垣　柊輔
金子　正直
野内　美月
宮崎正太郎
山下凜々子
田口　結花
千葉　涼晴
伴　知彦
岡野　力也
多田　希愛
中川　朋香
岡野さくら
手塚貴珠香
金澤　璃奈
安部　匠海
関　竜汰
関谷　武竜
山崎　優佑
小倉　理
塩野　陽
湊　采璃
坂本　優衣

6年生

深山　千尋
千葉　美奈
松川日菜子
船山玄太郎
並木理紗子
山本　哲司
真瀬垣勢波
岩谷　健人
松岡　佑維
原澤　彩香
堅田　優奈
佐々木康希
岩本　一晟
田子　千夏
野内　絢芽
髙橋　穂夏
遠藤　怜奈
山本　圭吾
金子　実夢
髙垣　怜奈
佐藤え　さ
三浦　千佳
髙岡　杏
佐々木帆海
本間　梨聖
唐鎌　沙耶
萩原　悠菜
尾野　拓馬
髙橋　大誠
日比　華妃
柳川　凌太
武田　偲芳
佐々木千乃
何　梓歌
齊藤　潤
横山　彩恵
秋葉　紗希
大谷　志穂
小石川沙笑
平川　菜苗

中学校

1年生

伊藤　啓
杉若　友美
佐々　春花
吉澤　結愛
稲葉　瞳
山田　理椿
蓑毛　杏実
矢吹　菜摘
若山　千紗
井野まなみ
川島　眸
小林　昭公
秋谷　拓弥
荒井　千果
佐久間友梨
吉田　萌音
出口　佳奈
山上ゆりか
小川　歩美
川津麻里菜
松田　昂大
山田　柚季
笠松　仁美
鈴木　花
蜷川　佑佳
土子　奈菜
岩瀬　菜美
齊藤万実子
尾髙ちはや
野老美乃里
平山　瑞姫
品川　采音
田中　梨紗
土屋　諒介
川島ほたる
渡邉　未来
佐藤　祈
細間　琉夏
唐鎌　優花
関本　祐楓

2年生

稲田　菜摘
海宝　彩花
角原　花梨
田中　春花
内林　衣世
宇部　星一
植村　優花
舩木　瑠南
齋藤　由衣
郡司みのり
榎本結実香
笹澤　小夏
入江　萌
杉田　莉菜
赤地　優斗
勝木恵理菜
木山日香理
生川　拓未
三沢　桃羽
野口　亜依
白土　綾人
片野　遥
武田　美紗
韓　紫優
松本　莉華
加瀬紗江里
田中　龍紀
川島　朋香
森田　玲未
鶴岡　靖朗
藤ケ谷鈴音
細谷　奈未
大和　敬久
小松　弘樹
鈴木　天音
鈴木瑛美子
吉田あり さ
長谷川晴紀
榎本　茉紘
本郷　睦美

3年生

齋藤　絢音
髙橋日尚華
石渡　菜緒
野山　栞
栗原　有朱
澤田　優香
嘉村　雪月
佐藤　友紀
北村　真依
髙橋　安美
髙橋　恵美
居原　美樹
木部　大輔
中西　玲央
田中　優希
松下恵理子
秋山　佳美
中澤　茜
石橋　理愛
斉藤　菜凪
榊　佳菜
土屋　京香
小関　妃奈
池辺　和佳
幸治　聡美
松橋　紀佳
白井　美咲
御園生真美
田中聖樹子
古市　真悠
安田　涉
安西　聡美
片山みさき
鈴木　里奈
池田　千夏
伊藤　崚真
宇都宮おこ
齊藤　和正
三澤　悠衣
鳥海　初音

千葉県緑化推進委員会では主に次の事業を行っています

緑を広める

・緑の募金運動
・緑化広報誌グリーンえっせんすの発行
・緑の教室、自然に親しむ活動の開催
・樹木名ラベル取付運動
・緑化運動ポスター原画コンクール　など

緑をふやす

・わたしの街みどりづくり事業
（緑の募金による市町村緑化事業）
・公共施設等の環境緑化事業
・市民苗木配布会の開催
・千葉県さくらの会の業務　など

緑の担い手育成

・みどりの少年団の育成
・みどりのサポーターの育成
・森林整備ボランティアの活動支援
・林業労働力確保支援センターの業務　など

あなたも
「緑の地球」を
支える一人です

表紙の作品

平成25年度国土緑化運動ポスター原画コンクール、小学校高学年の部において、千葉県知事賞を受賞した、
5学年吉原和奏さんの作品です。

発行
（公社）千葉県緑化推進委員会　〒299-0265 袖ケ浦市長浦拓2号 580-148
http://www.c-green.or.jp　Tel 0438-60-1521　Fax 0438-60-1522

国土緑化運動ポスター原画コンクールは緑の募金を活用して実施しました。

この入賞作品集は千葉信用金庫の協賛により作成しました。